

新年のごあいさつ

令和8年1月1日

新年明けましておめでとうございます。

会員及びご家族の皆様方におかれましては清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、今年は当年金者連盟が結成60周年を迎える節目の年となります。

60年の長きにわたり年金生活者の暮らしを守るための活動を続けてこられましたのも、ひとえに会員の皆様方のご理解とご協力の賜物であると感謝申し上げるところでございます。

さて、昨今の社会保障政策は、これまでの「給付は高齢者中心、負担は現役世代中心」といった社会保障構造を見直し、「年齢に関わりなくすべての世代が能力に応じて支えあう社会保障制度」へと転換してきております。

その中で、社会保障制度の支え手を増やす取り組みの一つとして、高齢者の就業促進も進められておりますが、それが、安定した年金制度の維持に寄与することを願うところです。

医療・介護においては、高齢者医療における負担の在り方について、能力に応じた全世代の支えあいの観点から、現役並み所得の判断基準を含む高齢者の自己負担についてどのような対応が考えられるか、議論されているところです。

急速な少子化・超高齢化社会に対応すべく、関係機関において、社会保障制度に関し、日々、様々な協議が行われております。

その取り組みが、私たち年金受給者のみならず全世代にとって暮らしやすいものとなるよう願って止みません。

しかしながら、現状はコメ価格の高騰をはじめとして物価高が続いており、私たちの日常生活は脅かされ続けております。

令和7年10月に高市政権が発足し、物価高対策が期待されるのですが、物価高に見合う年金額の改定が行われることや医療介護における過重な自己負担とならないようにすることなど、政府関係機関に対して強く要望していく必要があることは今までと変わりません。

近年は年金者連盟加入者が低減してきており、年金制度改善や福利厚生事業の取り組みに苦慮している状況にあります。引き続き全国の年金者連盟の仲間と共に年金受給者の生活の安定と福祉の向上に努めてまいりますので、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、会員並びにご家族の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ新年のあいさつといたします。

千葉県市町村職員年金者連盟

会長 稲生哲彌